



令和6年能登半島地震 災害派遣



陸上自衛隊 三軒屋駐屯地

第52号

発行所
三軒屋駐屯地協力会
三軒屋駐屯地OB会



↑ 石川県輪島市（支処）

1月1日（月）午後4時10分頃、石川県能登半島で最大震度7を観測する大規模地震が発生した。
三軒屋駐屯地は速やかに非常勤務態勢へ移行し、指揮所の開設、情報収集を行い、災害派遣へ対応できる状態を確保した。



派遣前に激励を受ける隊員ら（直支隊）



石川県庁での様子（施設隊）

支処は、発災直後から石川県輪島市に前進し、在庫管理隊として支援物資の管理・受渡しを行った。
施設隊・直支隊は、石川県庁をはじめとする各調整所・指揮所で施設調整・連絡等を行い、民間と自衛隊のパイプ役を担った。また、直支隊は石川県内において、炊事・



令和6年度 三軒屋駐屯地協力会定期総会

三軒屋駐屯地協力会（会長：長峰襄氏）は5月26日、アークホテル岡山において、令和6年度定期総会を実施した。総会では前年度の事業報告・会計報告、本年度事業計画・予算計画等が審議・承認された。

協力会定期総会

入浴支援にもあたった。
基通隊は、守山通信所の勤務支援を行い、警務隊は、現地での犯罪の防止等の治安維持活動にあたった。
発災から、多くの隊員が派遣され、三軒屋駐屯地内においても派遣される部隊・隊員への支援等が献身的に行われた。

三軒屋駐屯地OB会（会長：長川良成氏）は4月14日、ピュアリティイまきびにおいて、令和6年度定期総会を実施した。司令をはじめ、各部隊長等の現役隊員も参加した懇親会では、話も弾み、笑いの絶えない懇親会となった。



令和6年度駐屯地OB会総会

OB会定期総会



三軒屋駐屯地内での支援の様子

部隊紹介

第104施設直接支援大隊 第2直接支援隊

三軒屋駐屯地に所在する、第104施設直接支援大隊第2直接支援隊について紹介します。

第2直接支援隊は平成16年に、後方支援体制の改編に伴い、中部方面後方支援隊の隷下部隊として編成された整備部隊であり、第305施設隊とともに平成18年に善通寺駐屯地から三軒屋駐屯地に移駐し現在に至ります。

任務は整備、補給、輸送等の兵站を担任する後方支援部隊の中でも装備品の整備の実施です。整備部隊は、オーパーホール等高段階整備を実施する補給処と予防整備や保



安検査、故障車両の回収・整備を実施する野整備部隊と2種類の部隊に大別することができ、第2直接支援隊は後者の野整備部隊にあたります。主に施設隊が保有するドーザや油圧ショベルといった施設器材や大型トラック、ダンプ等の車両、小銃等の火器指揮の命脈となる連絡に必要な無線機等の装備品の整備を恒常的に実施しています。整備は、装備品が常に良好な状態で使用できるよう日頃から整備・点検のほか、訓練等の際には同行支援により故障



車両の回収及び修理を行い施設隊の任務達成を陰ながらサポートする役割があります。そのほか、同駐屯地に所在する関西補給処三軒屋弾薬支処並びに日本原駐屯地への施設器材の巡回整備も行っています。

また、東日本大震災や熊本地震、能登半島地震といった大規模災害時におけるインフラ復旧支援に尽力する施設隊を支援し災害派遣活動にも寄与してきました。

今後も、第一線で活動する部隊のために強靱な整備支援を行える様、飽くなき技術の錬磨に努めてまいります。

新着任部隊長等の紹介

令和6年3月18日付で着任された部隊長等を紹介します。第132地区警務隊

三軒屋連絡班長

3等陸尉 田村 侑太



【出身地】兵庫県加古川市
【趣味】犬の散歩

意外に知らない国旗のこと

—寸法は縦が横の3分の2、直径が縦の5分の3。白地に紅色の日章 私たちは、これを日本の国旗と呼ぶ。

歴史を見ると、国旗は戦場での所属を示す軍旗が起源であり、その後は国家の船舶の所属を示す商船旗として使用され、19世紀中にはほとんどの国が国旗を定めた。

日本の国旗の赤い日の丸は「日の出る国」の象徴である太陽（紅色）を表している。また、日の丸の「丸」は、円満を意味し、和合、平和に徹することを意味している。旗の色の紅色は躍動・愛情・善行の美を表しており、白色は、神聖・清浄・純潔を意味すると言われている。

日の丸は国旗として定められる前よりはるか昔、太陽信仰とともに広まったとされる。（日本の太陽神である天照大神の神話は弥生時代前期頃に生まれたといわれ、歴史の長さを感じる。）

自衛隊では開庁日と祝日には国旗を掲揚するが、掲揚・降下にあたり、「旗衛隊（きえいたい）」という特別な編成を組んで実施する。この旗

衛隊は、動作ひとつにおいてもタイミングや角度・姿勢など細かく作法が定められており、厳正に掲揚・降下を行う。この作法の中で、国旗は常に旗竿（旗を掲揚するための竿）の竿頭（旗竿の最も上の部分）に接するように掲揚しなければならずとあるが、これは竿頭と旗が離れていると、その間に死神が宿るとの言い伝えがあるからだ。半旗といって、弔意を示すために旗の位置を竿頭から離して掲揚することもあるが、この際も一度、竿頭に接するまで上げたのちに降ろさなければならぬ。

ある日、どこかで世界各国の国旗が並んでいたとする。その時、無意識のうちに日本の国旗を探してしまう。そういった気持ちを大切にしていきたいものだ。



国旗を奉持する旗衛隊



＜施設隊＞ 2月
上級施設特技検定



3月
陸軍墓地清掃



3月
火災呼集訓練



4月
生活体験入隊支援

フオトニュース



＜施設隊＞ 5月
部隊装備火器射撃訓練



＜基通隊＞ 5月
大隊長視察



＜支処・直支隊＞
5月 格闘検定



思い立ったが吉日

隊員紹介



第305施設隊第2小隊に所属する船曳遥希士長の紹介です。

Q 入隊の動機は？
A 国際貢献活動に参加したいと思ったから。

Q 部隊のやりがいや魅力は？
A 風通しがいいところ。

Q 自衛隊での一番印象的な出来事は？
A 後期教育隊に班付として参加したこと。

Q 尊敬する人は？
A 吉田3曹
(隊本部補給班勤務)

Q 趣味は？
A サウナ・映画鑑賞

Q 今後の目標は？
A 陸曹になり、経験を積み、後輩隊員の見本となるよう知識と技術を身に付けたい。

健康な兵士は不健康な兵士に勝る

支処 1等陸曹 平林 竜一

リラックスできていますか？
訓練で骨折や大きなものでは靭帯断裂など年中どこかしらが痛み、それが普通だと感じていました。そんな私が「健康な兵士は不健康な兵士に勝る」と教える、システマに興味惹かれるのは自然な流れだったと思います。
実際にやってみると、自分の状態を観察し弱点を見つけ研究することで楽な方向に自分を整え又、呼吸やリラクゼーションをよくするので年配になっても続けられるものでした。
また、つらくてしんどい状態からその反動で深いリラッ



クスを学べるのも良いところだと思います。
30代後半にあつた慢性的な肩こりや腰痛はなくなり精神的に余裕もでき、未熟ではありましたが少しは自分をうまく扱える事が増えてきたように感じます。
自分の状態をチェックできる趣味があるとリラクセスをより良く感じられて面白いですよ？
システマ…ロシア武術のひとつ

行事予定

8月7日(水) ふれあい納涼盆踊り

18:00 ~ 20:30

(一般開放 17:30 ~)

- ・屋台・仕掛け花火
- ・お化け屋敷 など



新広報班長よりご挨拶



支処 陸曹長 横溝 勝範

【出身地】：岡山県
【職種】：機甲科
【入隊】：平成6年

3月18日付で広報班長に上番しました横溝曹長です。広報業務は2年目でわからないことばかりですが、精一杯頑張ります。よろしく願います。

10月19日(土)

駐屯地創立69周年

記念行事



各種行事の統報・詳細は三軒屋駐屯地ホームページにて逐次更新予定！

三軒屋駐屯地ホームページ



※駐車場が限定されていますので、公共交通機関をご利用ください。